

ースタートアップ・民間企業と市役所が協働する地域課題解決プロジェクトー 「Urban Innovation TOYOHASHI」の実証実験を開始します

豊橋市では、令和2年度より、スタートアップ・民間企業と市役所が協働して社会・地域課題の解決を目指すプロジェクト「Urban Innovation TOYOHASHI（アーバンイノベーション豊橋）」を実施しています。

今年度は、長寿介護課と保険給食課の課題を公開し、両課の「協働パートナー」として、ともに挑戦するスタートアップ・民間企業を全国から募りました。今後は、それぞれの課題で選ばれた「協働パートナー」とともに実証実験に取り組み、豊橋発のサービスとして全国展開につなげることを目指していきます。

1 全国の民間企業・スタートアップから31件の提案が集まりました


- 昨年度は、3課題に対し18社から18件の提案が集まりました。今年度は、2課題に対し、昨年度を上回る30社から31件（長寿介護課20件、保険給食課11件）の提案が集まりました。
- 今年度の課題選定にあたっては、本プロジェクトの受託事業者とともに、地域イノベーション推進室の職員が市役所の各課を回り、担当者と議論を深めたことで、導入可能性の高い課題を選定できたことが要因と考えています。

2 協働パートナーとともに、属人化の解消や手作業からの解放を目指します



「協働パートナー」と課題解決に挑む長寿介護課（左）と保険給食課（右）の職員


○ 長寿介護課が行う実証実験

協働 パートナー	Zerotoinfinity 株式会社（東京都新宿区） 代表者 佐川 亜希 ※ホームページには右記二次元コードからアクセスできます。 
解決したい 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内 18 カ所の地域包括支援センターでは、業務の属人化やマニュアルの未整備により、新人教育が難しい状況にあります。 ・ 高齢者人口の増加が見据え、業務の質を維持するため、業務の可視化と標準化に取り組む必要があります。
実証実験の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部のセンターにおいて、現場に即した運用手順の試作・導入を行います。 ・ マニュアル整備を通じて、業務の標準化や人材育成への効果を検証し、現場のフィードバックを踏まえて仕組みの精度を高めていきます。

担当課のコメント

介護・福祉現場への知見が深く、導入のコストも意識された提案をいただきました。実証を通じて、属人化の解消と業務標準化を進めていきたいと考えています。

○ 保健給食課が行う実証実験

協働 パートナー	ピープルソフトウェア株式会社（岡山県倉敷市） 代表取締役社長 横道 彰 ※ホームページには右記二次元コードからアクセスできます。 
解決したい 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食注文数管理は、学校が入力したデータを市職員が確認・集約し、別形式へ転記する運用となっており、複数の Excel・Access データと手作業により、学校・市双方に大きな負担が生じています。 ・ 担当者が変わっても安定して運用できる仕組みへの転換が求められています。
実証実験の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の学校で、給食注文数管理に特化した新たな仕組みの構築・検証を行います。 ・ 学校と市の間で発生しているデータ作成・確認・転記の一連の業務について、システム化とフローの統一による業務量の削減効果を評価します。

担当課のコメント

類似のシステムの実績がある企業からの提案であり、実効性に期待しています。学校・市双方の負担軽減と、誰が担当しても滞りなく業務が進む仕組みの構築を目指します。

(スケジュール)

市役所と協働パートナーは、4月中旬から8月までの約4か月間協働して、市民等によるテスト利用や市役所業務の中での試行導入・実証実験などを行い、本格導入を検討します。

令和7年度	1月	庁内の課題公開
	2月	スタートアップ等からの提案募集
	3月	選考・マッチング
令和8年度	4月～8月	実証実験
	9月以降	本格導入の検討
(令和9年度	4月以降	本格導入)

現時点

問合せ先 産業部地域イノベーション推進室 室長補佐 小野 (電話 0532-51-3155)

